

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	23年度から企画競争から一般競争に移行
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	従来、企画競争により選定していたところであるが、23年度より企画競争から一般競争入札に移行した。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		障害程度区分管理事業については、昨年度実績において予算と執行の乖離が生じており、その要因等を精査し、予算を縮減すること	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
今年度の契約実績を踏まえ縮減を行った。（反映額：▲3百万円）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

厚生労働省
67百万円

委託先の業務遂行管理及び
委託費の執行管理

【企画競争】
A. (財)医療情報シ
ステム開発センター
67百万円

- ①ヘルプデスクの設置と運用 ②障害
判定ソフトの保守管理 ③報告データ
収集システムの構築・運用
④報告データの集計・分析

【随意契約】
B. (株)日本電気
19百万円

- ①障害判定ソフトの保守管理
②報告データ収集システムの改修
③報告データ集計・分析

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されて いる者について記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A(財)医療情報システム開発センター			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	ヘルプデスク業務	26			
	委託料	(株)日本電気 障害判定ソフトの保守管理、報告データ収集システムの改修、報告データ集計・分析に関する技術的作業部分	19			
	借料及び損料	ヘルプデスク室、サーバ及びサーバ設置場所、コピー機等の借料	8			
	雑役務費	報告データ収集用Webサイトの設置作業及び運用管理等	6			
	通信運搬費	市町村配布用ソフトCD等の送料	3			
	印刷製本費	市町村配布用ソフトCD等の作成	2			
	その他	消耗品費等	4			
	計		67	計		0
	B.(株)日本電気			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	障害判定ソフトの保守管理、報告データ収集システムの改修、報告データ	19			
	計		19	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)医療情報システム開発センター	障害程度区分判定に係る市町村の支援(ヘルプデスクの設置)及び市町村が行った障害程度区分判定に係るデータの集約。	67	随意契約	

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	((株)日本電気	障害判定ソフトの保守管理、報告データ収集システムの改修、報告データ集計・分析に関する技術的作業部分	19	随意契約	